

## JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書

文書番号 : LXEC-1510

発行者の名称 : 株式会社LIXIL LIXIL Housing Technology  
ウィンドウシステム事業本部 ドア事業部 ドア開発部

発行者の住所 : 東京都江東区大島二丁目1番1号

宣言の対象 : 住宅用玄関ドア  
(附属書参照)

上記の宣言の対象は、次の文書の要求事項に適合しています。

<規格/文書番号>	<規格名称/表題>	<版数/発行日>
JIS A 2102-1	窓及びドアの熱性能－熱貫流率の計算－第1部:一般	2015年6月22日
JIS A 2102-2	窓及びドアの熱性能－熱貫流率の計算－第2部:フレームの数値計算方法	2011年3月22日
JIS R 3107	板ガラス類の熱抵抗及び建築における熱貫流率の算定方法	1998年3月20日

追加情報 :  
・ 適合性能項目 : 熱貫流率

問合せ先 : 株式会社LIXIL LIXIL Water Technology SC Japan  
EHS推進部 環境・リスクマネジメント推進室  
愛知県常滑市鯉江本町五丁目1番地  
TEL:0569-36-0280 FAX:0569-36-0335

代表者又は代理人の署名 : 坂元 淳一

発行日 : 2016年6月30日

発行場所 : 株式会社LIXIL LIXIL Housing Technology  
ウィンドウシステム事業本部 ドア事業部 ドア開発1部

役職名・氏名 : 部長 坂元 淳一

この文書は、JIS Q 17050-1に基づき作成された自己宣言書です。

・宣言対象商品(仕様・品種)性能一覧

商品	仕様・品種	性能		解析No.		
ジエスタ	K4仕様 枠:片開き 本体:F14型	開口部 熱貫流率(遮蔽物無し) [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		3.26	DAK111	
		開口部 熱貫流率(風除室あり) [W/(m <sup>2</sup> ·K)]				2.46
		ガラス 構成 ( <sup>≒</sup> )	本体部	室外(普通ガラス)		3
				中間(空気層)		12
				室内(型板ガラス)		4
(参考) 本体部ガラス中央部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		2.9				
ジエスタ	K4仕様 枠:片袖(普通複層ガラス) 本体:F17型	開口部 熱貫流率(遮蔽物無し) [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		3.48	DAK124	
		開口部 熱貫流率(風除室あり) [W/(m <sup>2</sup> ·K)]				2.59
		ガラス 構成 ( <sup>≒</sup> )	本体部	室外(普通ガラス)		3
				中間(空気層)		12
				室内(型板ガラス)		4
(参考) 本体部ガラス中央部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		2.9				
ガラス 構成 ( <sup>≒</sup> )	袖部	室外(普通ガラス)	3			
		中間(空気層)	12			
		室内(普通ガラス)	3			
(参考) 袖部ガラス中央部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		2.9				
ジエスタ	K4仕様 枠:片袖(Low-E複層ガラス) 本体:F14型	開口部 熱貫流率(遮蔽物無し) [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		3.36	DAK114-2	
		開口部 熱貫流率(風除室あり) [W/(m <sup>2</sup> ·K)]				2.52
		ガラス 構成 ( <sup>≒</sup> )	本体部	室外(普通ガラス)		3
				中間(空気層)		12
				室内(型板ガラス)		4
(参考) 本体部ガラス中央部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		2.9				
ガラス 構成 ( <sup>≒</sup> )	袖部	室外(Low-Eガラス)	3			
		中間(空気層)	12			
		室内(普通ガラス)	3			
(参考) 袖部ガラス中央部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		1.7				
FG-Eジエスタ	K4仕様 枠:片開き 本体:F15型	開口部 熱貫流率(遮蔽物無し) [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		2.93	DAL021	
		開口部 熱貫流率(風除室あり) [W/(m <sup>2</sup> ·K)]				2.27
		ガラス 構成 ( <sup>≒</sup> )	本体部	室外(Low-Eガラス)		5
				中間(空気層)		10
				室内(型板ガラス)		6.8
(参考) 本体部ガラス中央部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		1.9				

<開口部の熱貫流率[※1]>

・JIS A 2102に基づく計算による熱貫流率[※1]です。

・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成25年・平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「3-2外皮の熱損失、窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。